



『あーよかったなあなたがいて』
〜人権教育地域学習会〜

大和ふれあいセンター「シトラス」に、教育サポーター 仲島正教さんを講師に迎え、人権教育地域学習会が行われました。仲島さんは、全国で年間250回もの講演を行なっており、親や地域の大人が今こそ改めて認識すべき「人権意識」について、「優しい風 (loving wind)」にのせて世に贈り続けています。「優しい」という漢字は、憂いのある人の横に「人偏」つまり人が寄り添うこと。」と、話す仲島さん。来場した皆さんは、仲島さんが教育現場で得た子どもたちとの様々な体験談に感動し、目に涙を浮かべていました。

光のオブジェが市街地を照らし出す「まかべ夜祭」

8月21日(土)・22日(日)、真壁町市街地において「まかべ夜祭」が開催されました。

このイベントは、真壁町商店会連合会が地元石材組合などの協力を得て行われるもので、石燈籠や子供たちが作ったペットボトル行燈などが、古い蔵造りの商家が建ち並ぶ、御陣屋前通りや高上町通りを、ほのかな明かりで照らし出しました。

また、ステンドグラス教室の皆さんの力作や桜川市商工会女性部作製の影絵なども、艶やかな彩りを添えています。



女装した男衆が踊る

西小埜地区の「けらおどり」

8月21日(土)、西小埜一区の児童公園で、地区の親睦と五穀豊穡・地域安全を祈願し、盆踊り「けらおどり」が披露されました。このおどりは、260年程前の江戸時代、凶作による年貢軽減を求め、笠間藩に直訴した村人が役人の目を逃れるため、女装したのが始まりとされています。

地元親睦会の主催で毎年行われている「けらおどり」は、子供会の皆さんによるお囃子に合わせ、着物や化粧で女装した男衆が、腰を深くかがめ、土をかき回す昆虫の「おけら」のしぐさを取り入れ踊る郷土芸能です。



白粉やかつらなどで女装した男衆は、テンポの速いお囃子に合わせ、やぐらを囲み踊ります。

市内建設業63社が
ボランティアで道路の清掃活動

「道の日」の8月10日(火)、市内の建設業63社で構成される「桜川市未来クラブ協同組合」の皆さんが、ボランティアで市内主要道路の清掃活動を行いました。

この活動は、筑西土木事務所主催で毎年行われているもので、同事務所管内の桜川・筑西・結城市で一斉に行われました。

桜川市では、猛暑の中、総勢165人の皆さんがダンプ61台に分乗し、清掃活動に汗を流しました。結果、2トンのゴミや空き缶が回収されました。誰もが気持ちよく道路を歩けるように、ゴミや空き缶などは自宅に持ち帰るようにしましょう。



桜川市商工会大和事務所前で行われた「桜川市未来クラブ協同組合」による道路清掃活動の出発式の模様

真壁小でコミュニティスクール
プールでフィッシング

真壁小学校のプールを会場に、青少年育成桜川市民会議真壁支部主催の「コミュニティスクール」プールでフィッシングが開催されました。

これは、子供たちの「生きる力」を育てるために、地域と学校が一体となって、様々な体験の機会を提供しようと実施されたもので、当日は、つくば溪流会協力のもと、全児童とその保護者約150人が参加。プールに放流された300匹のニジマスの掴み取りや釣りを楽しみました。

最後に、子供たちはイワナの塩焼きに舌鼓を打ち、夏の終わりの楽しい一日を過ごしました。



暑い日差しの中、魚釣りや掴み取り、水遊びなどで真壁小のプールは子どもたちの歓声につつまれていました。

全日本高等学校馬術選手権大会で

東京世田谷のJRA馬事公苑で開催された、第21回全日本高等学校馬術選手権大会で、真壁高校3年の

この大会には、全国各地の予選を勝ち抜いた24人が参加。「馬場馬術」と「障害馬術」を競い合いました。



土浦市出身の大森君は、昨年の本大会第8位の悔しさをバネに、メンタル・技術面で練習を重ね、今回は全国ナンバー1の座を獲得しました。「今回優勝できたのは監督、コーチの日頃のご指導のおかげです。」と、大森君は話していました。

大和ファイターズ(軟式野球)が
グッドマナー賞

山梨県の山梨学院大学野球場などを会場に、第29回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会が開催され、大和ファイターズがグッドマナー賞を受賞しました。

この大会は、開催県も含めた関東1都8県のスポーツ少年団の軟式野球チームの交流を目的に開催されたもので、同チームは、マクドナルド茨城県大会で準優勝し、今大会の出場権を獲得しました。

今回受賞のグッドマナー賞は、選手・指導者・応援者のチームワークや態度などが大会実行委員会から評価され、軟式野球部門で唯一与えられたものです。



関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会でグッドマナー賞を受賞した大和ファイターズの選手のみなさん

TOOウオシユレット

TOOウオシユレットテクノ(柳茨城工場(西小埜地区)から市に寄付をいただきました。

これは、同社の「夏まつり」で行われた日用雑貨品のバザーの売上金を寄付していただいたもので、市の事業のために使っていただければと、実行委員の方が中田市長を訪ねました。

同社は「今年から始まったイベントですが、日ごろお世話になっている地域の皆様へ感謝の気持ちを示すとともに、地域の方々と交流を深めるためにも、今後も継続し、併せて市への寄付も行っていきます。」と、話していました。



中田市長(写真左)に寄付金を手渡す「TOOウオシユレットテクノ夏まつり」実行委員の鬼澤裕さん(写真右)と坂名子さん(写真中央)